

東レ(株) 岐阜工場

環境創出活動報告書

2014



東レの環境に関する企業行動指針

安全・防災・環境保全を最優先課題とし

社会と社員の安全と健康を守り

環境保全を積極的に推進します

ごあいさつ

東レグループは、安全と環境保全に真剣に取り組んでいます。

東レグループは、経営理念の企業行動指針として「安全・防災・環境保全を最優先課題とし、社会と社員の安全と健康を守り、環境保全を積極的に推進します」と掲げ、安全・衛生・防災及び環境保全活動の充実に努めています。

地球は今、温暖化や環境汚染などの環境問題に直面していますが、当工場は省エネルギー、廃棄物の削減及び化学物質の排出抑制、リサイクルなどの環境活動に取り組んでいます。

環境保全に関する認証・登録として、1999年3月に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得、2000年11月に岐阜県環境配慮事業所に登録、2005年3月には岐阜県・神戸町と環境創出協定を締結しました。

また、2012年には環境に対する負荷を低減させるために、ボイラーの燃料を重油からLNGに転換し、2013年には生活排水の下水道への排出も開始しました。

今後も環境保全・環境改善について積極的に取り組んでいく所存でございます。本報告が、当工場の環境保全・環境改善活動について、皆さま方にご理解いただく一助となれば幸いです。



岐阜工場長 黒目 泰一

岐阜工場環境方針

一級河川揖斐川に隣接した田園地帯に立地する岐阜工場は、周辺環境との調和を意識し、東レ(株)経営理念における企業行動指針「安全・防災・環境保全を最優先課題とし社会と社員の安全と健康を守り環境保全を積極的に推進します」を実現するため、岐阜工場内で働く全ての人によって、環境マネジメント活動を推進していきます。

1. 環境関連の法規制及び工場が同意したその他の要求事項を遵守し、環境保全活動を推進します。
2. 汚染の予防を推進し、環境への排出物や廃棄物及びエネルギー消費の少ない工場作りを進めるとともに、環境に優しい製品やサービスの提供を目指します。
3. 環境目的・目標を定め、その実現を図るとともに、定期的に見直すことにより継続的な改善を推進します。
4. 本方針は文書化し、実行し、維持するとともに工場内で働く全ての人に周知します。
5. 本方針は一般に公開します。

制定 1998年9月16日
改定2 2007年1月19日
岐阜工場長

岐阜工場の概要

- 所在地 岐阜県安八郡神戸町安次 900 番地の 1
- 敷地面積 184,000 m²
- 主な製品 エクセーヌ（スエード調人工皮革）
ルミラー（ポリエステルフィルム）
トレリナ（ポリフェニレンサルファイドフィルム）

環境活動の経緯

1971 年	岐阜工場操業開始 環境管理課（現環境保安課）設置 神戸町と環境保全協定締結
1973 年	環境管理規則制定
1984 年	環境管理委員会要領制定
1990 年	産業廃棄物削減プロジェクト開始
1993 年	安全・防災・環境監査開始
1994 年	環境教育冊子作成
1996 年	優良危険物関係事業所消防庁長官賞受賞
1999 年	ISO14001 認証取得
2000 年	岐阜県環境配慮事業所登録
2002 年	SONY 社グリーンパートナー認証
2003 年	地域とのリスクコミュニケーション
2005 年	岐阜県・神戸町と環境創出協定締結
2006 年	ISO14001:2004 年版運用開始
2008 年	異常排水の回収設備設置
2012 年	ボイラーの燃料を重油から LNG へ転換
2013 年	生活排水の下水道への排出開始

労働安全・保安防災への取り組み

岐阜工場では、労働災害ゼロを目指してさまざまな安全活動を行っています。

また、各種の災害を防止するために、火災防止等の活動を行うとともに、万一の事態に備えて防災訓練を実施しています。

主な安全活動

1. 従業員が安心して働けるように、徹底した「設備の安全化」を図っています。
2. KYT や疑似体験などによって、従業員の危険に対する感受性の向上を図っています。
3. 相互注意やグループ討議、個人面談などによって、ルールを遵守する風土の構築に努めています。
4. リスクアセスメント手法を用い、リスクの除去・低減に努めています。

厚生労働大臣優良賞



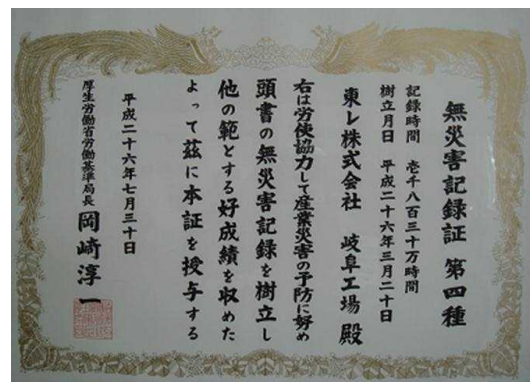
岐阜工場の労働安全成績

2014 年 3 月 20 日に無災害記録時間 1830 万時間を達成し、「第 4 種無災害記録」を樹立しました。

安全に関する主な表彰・記録

1995 年	第 1 種無災害記録達成 (540 万時間)
1996 年	日本化学協会安全努力賞受賞 岐阜県労働基準局長安全優良賞
1998 年	第 2 種無災害記録達成 (810 万時間)
1999 年	労働大臣進歩賞受賞（安全） 業種別無災害最長記録達成
2003 年	第 3 種無災害記録達成 (1220 万時間)
2005 年	日化協・JRCC 安全賞受賞 厚生労働大臣優良賞受賞
2014 年	第 4 種無災害記録達成 (1830 万時間)

第 4 種無災害記録証



無災害記録達成記念碑



疑似体験装置による安全教育

関係会社・協力会社を含む全従業員を対象に、回転体への巻き込まれ、感電等を疑似体験する安全教育を実施しました（2014年8月）。



火災防止

東レは1997年から火災防止に関するチェックリストを用いて火災防止対策の総点検を行い、問題点を改善してきました。また、防災教育を行い従業員の防災意識向上に努めています。さらに万一の事態に備えて、防災訓練を実施するとともに緊急連絡網を整備しています。

防災訓練

地震発生時の避難訓練および休日の火災を想定した消火訓練を実施しました。



事業所初期消火競技大会

大垣消防組合主催の事業所初期消火競技大会の屋内消火栓消火競技に工場自衛消防隊が出場し、優勝しました。

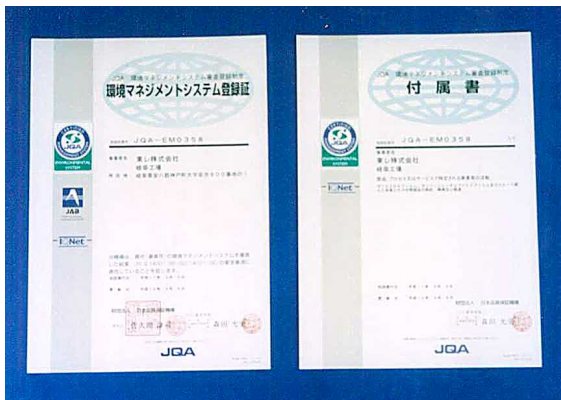


ISO14001と岐阜県環境配慮事業場登録

岐阜工場は1999年3月に、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し（登録番号:JQA-EM0358）、環境管理に関する方針、計画を策定、それを実行・フォローする環境改善のための管理システムを構築・運用しています。認証を維持するため、2014年3月に5回目の登録更新を行いました。

また、岐阜県が全国で初めてスタートさせた環境配慮事業所登録制度の第1回の審査にパスし、2000年11月に登録証が交付され、2012年4月に3回目の更新登録を行いました。

ISO14001 登録証



岐阜県環境配慮事業所登録証



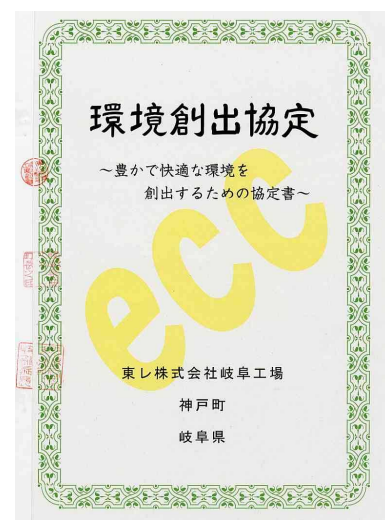
環境創出協定

環境創出協定は、地域的な公害防止対策に地球規模の環境保全・化学物質対策などを加え、自主管理・自主目標を設定し、環境負荷に関する情報を公開するものです。2005年3月に岐阜県、神戸町、東レ(株)岐阜工場の三者で締結し、2014年3月に3回目の協定締結更新を行いました。豊かで快適な環境創りに努めてまいります。

岐阜県の公式サイト



環境創出協定書



環境創出協定の行動計画達成状況（2013年度）

大気汚染、水質汚濁、総量規制、騒音、振動、地下水汚染のいずれも目標を達成しました。

注：「－」は、法令が適用されない項目		法令に基づく規制基準	維持管理目標値	2013年度達成状況
大気汚染 (排出ガス)	窒素酸化物 (1B ボイラ)	100 ppm	95 ppm	60 ppm
	(LPG ボイラ)	150 ppm	130 ppm	60 ppm
	(ディーゼル発電機)	950 ppm	930 ppm	490 ppm
	ばいじん (1B ボイラ)	0.05 g/m ³ N	0.045 g/m ³ N	< 0.002 g/m ³ N
	(LPG ボイラ)	0.10 g/m ³ N	0.06 g/m ³ N	< 0.007 g/m ³ N
	(ディーゼル発電機)	0.10 g/m ³ N	0.095 g/m ³ N	0.01 g/m ³ N
水質汚濁 (排水水)	水素イオン濃度 (PH)	5.8～8.6	6.0～8.4	7.3
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	30 mg/L	10 mg/L	0.9 mg/L
	浮遊物質 (SS)	60 mg/L	8 mg/L	1.1 mg/L
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類)	10 mg/L	3 mg/L	0.5 mg/L
	トリクロロエチレン	0.3 mg/L	0.22 mg/L	< 0.002 mg/L
総量規制 (特定排水)	化学的酸素要求量の負荷量 (COD)	214 kg/日	184 kg/日	18.0 kg/日
	全窒素含有量の負荷量 (T-N)	248 kg/日	180 kg/日	11.0 kg/日
	全りん含有量の負荷量 (T-P)	32 kg/日	24 kg/日	0.3 kg/日
騒音	騒音の大きさ	昼間：70 dB 朝夕：65 dB 夜間：60 dB	60 dB (西・南側)	西：51 dB 南：47 dB
振動	振動の大きさ	昼間：65 dB 夜間：60 dB	55 dB	昼間：30 dB
地下水汚染	トリクロロエチレン	－	0.03 mg/L	E 観-1 < 0.002 mg/L

環境保全への取り組み

岐阜工場では、開発から廃棄に至るすべての工程で、環境負荷低減に向けた取り組みを行っています。

大気汚濁防止に関する取り組み

ボイラーに使用する燃料を重油から LNG に転換し、2013 年から大気汚染物質の一種である硫黄酸化物（SOx）の排出量をゼロにしました。

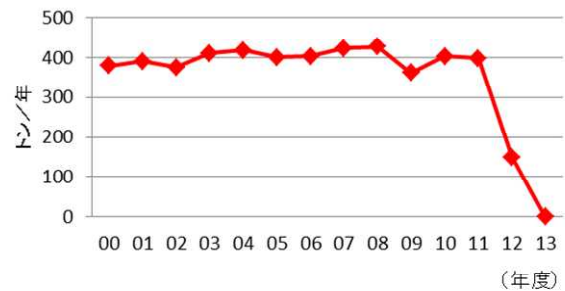
LNG タンク



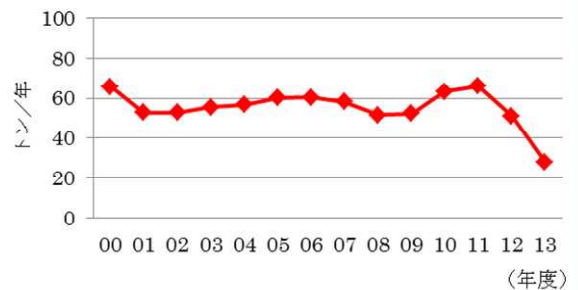
ボイラーのバーナー



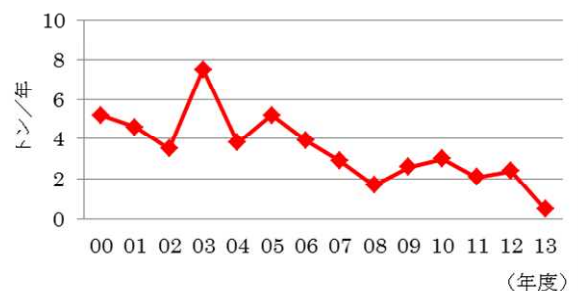
硫黄酸化物(SOX) 排出量



窒素酸化物 (NOX) 排出量



ばいじん排出量



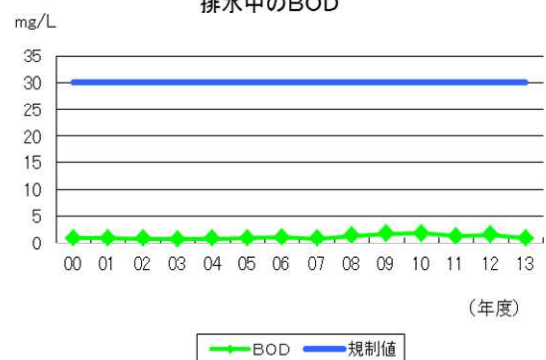
水質汚濁防止に関する取り組み

工場からの排水は、排出口に測定機器を設置して常時監視し、基準値より低い値で維持・管理しております。

※BOD：生物学的化学酸素要求量

有機物が微生物により分解される時に必要な酸素量。
河川の汚濁指標。

排水中のBOD



省エネルギー推進に関する取り組み

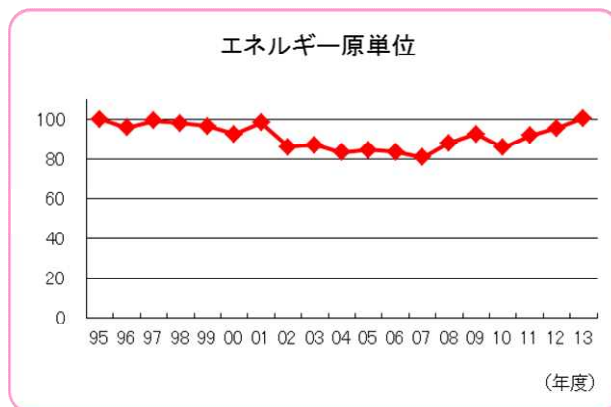
エネルギー原単位の削減

省エネ法に基づき、エネルギーロス防止等の着実な省エネ活動を進めています。

※エネルギー原単位：

単位生産量あたりの原油換算エネルギー消費量

2009 年度から省エネ法改正による原単位



産業廃棄物削減に関する取り組み

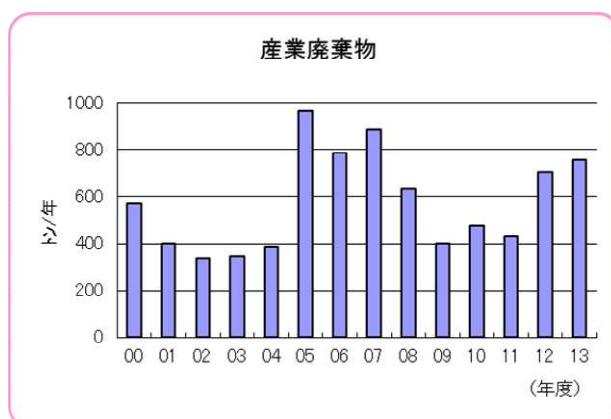
産業廃棄物の削減

1990 年度から産廃削減プロジェクトをスタートし、廃棄物の削減や廃棄物の有効活用に努めてきました。

(2005 年度からリサイクル先見直しのため増加)

2013 年度産業廃棄物処分量

処分方法	処分量
再資源化	756 ton/年
単純焼却	0 ton/年
埋立	0.8 ton/年



化学物質排出・移動量 (PRTR 対象物質)

PRTR 制度とは、人の健康や生態系に害となる恐れのある化学物質について、事業所からの環境（大気、水、土壌）へ排出される量及び廃棄物に含まれて事業所外へ移動する量を、事業者が自ら把握し行政庁に対して届け出るとともに、行政庁がその排出量・移動量を公表する制度です。

岐阜工場の 2013 年度 PRTR 届出対象となるものは下表のとおりです。

2013 年度 排出量・移動量

(kg/年)

物質名称	排 出 量				移動量
	大気	水域	土壌	埋立て	廃棄物
N,N-ジメチルホルムアミド	90	0	0	0	10,440
トリクロロエチレン	320	0	0	0	800

地域社会とのコミュニケーションと社会活動

近隣の方々への工場見学会

近隣 5 区長の方々に工場の環境保全活動をより深く理解していただくため、工場見学会を開催しました。



河川清掃

国土交通省主催の「川と海のクリーン大作戦」に参加し、揖斐川の河川清掃を行いました。



神戸町のマスコットキャラクター「ばら菜」トレシー

神戸町役場より、「ばら菜」トレシー 1000 枚の注文を頂きご好評を得ました。



内容に関するお問い合わせ先
東レ株式会社 岐阜工場 （環境保安課）
〈TEL〉 0584-27-2080
〈FAX〉 0584-27-3128